

氏名	小泉 浩平	部署	作業療法学科	職名	助教
研究分野	身体機能作業療法学, がんリハビリテーション, 行動医学				
学位	博士 (健康科学)				
学歴	2017年 埼玉県立大学大学院 博士前期課程 2021年 埼玉県立大学大学院 博士後期課程				
経歴	2020年 埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科助教				
所属学会 (役職)	日本作業療法士協会, 埼玉県作業療法士会, 日本作業療法研究学会, 日本がんサポーターブケア学会, 日本行動医学会, 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	OT評価ポケット手帳 第2版	共著	あり	ヒューマンプレス社；360	(編)濱口豊太	2022.8
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	A Method of Generating a Classifier that Determines the Presence or Absence of IBS Symptoms by Supervised Learning from the Frequency Analysis of Electroencephalogram Data	共著	あり	○	Frontiers in Bioscience-Landmark, 27(6), 187	Kohei Koizumi, Toyohiro Hamaguchi, Jun Tayama, Shin Fukudo
2	Cravings for alcohol in alcohol use disorders are associated with attention deviation to alcohol: An observational study of Japanese in-patients	共著	あり	○	Medicine, 102(10), e33222	Yoshifumi Amano, Kouhei Koizumi, Hirokazu Takizawa, Toyohiro Hamaguchi
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	がん患者のADLによる身体活動度の機械学習予測	共同	第56回日本作業療法学会		○小泉浩平, 大木原徹也, 下斗米佳奈美, 水村翔, 牧田茂	2022.9
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	学術企画セッション 心身機能改善を目指したサポーターブケア	単独	第7回日本がんサポーターブケア学会学術集会		シンポジスト：森下慎一郎、○小泉浩平、内藤立暁、井沢知子、奥松功基	2022.6
2	SIMPOSIUM：Self-management techniques as nonpharmacological treatment for irritable bowel syndrome	共同	19th Congress of the Asian College of Psychosomatic Medicine		○Kohei Koizumi, Toyohiro Hamaguchi, Jun Tayama, Shin Fukudo	2022.8
3	SIMPOSIUM：Self-management techniques as nonpharmacological treatment for irritable bowel syndrome	共同	19th Congress of the Asian College of Psychosomatic Medicine		○Hirokazu takizawa, Kohei koizumi, Jun tayama, Toyohiro hamaguchi	2022.8
4	15.がん作業療法領域における好循環の創出に向けたエビデンス解釈と臨床実践 Occupational Therapy in Oncology - Researchers Network	共同	第56回日本作業療法学会		司会・発表者：○小泉浩平、講師：柳井亮人、壺岐尾優太	2022.9
5	口述発表：がん4セッション	単独	第56回日本作業療法学会		座長	2022.9
6	シンポジウム2 感覚運動機能を向上する作業療法	共同	第16回作業療法研究学会学術大会		シンポジスト：○小泉浩平、中村允雄、池田由里子	2022.11
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 (若手研究)	がん患者の前向きな生活適応へレジリエンスを高める心理支援と運動介入方略の開発		研究代表者	2020.4-2023.3	
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	ニューラルフィードバックによる脳腸相関異常を制御する装置開発とその練習効果の検証		研究分担者	2022.4-2025.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	身体機能作業療法学特講	○	15	科目責任者として講義を実施した。身体機能領域の臨床思考過程を養うための、学習方法を指導した。
2	身体機能作業療法学		2	身体機能領域における、脳血管疾患、心疾患、呼吸器疾患、悪性腫瘍を対象とした作業療法を概説した。
3	作業療法運動学実習		2	口頭試験の対応と学生へのフィードバックを行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	身体機能作業療法学実習 (中枢疾患)	○	13	科目責任者として講義および実習を実施した。評価から統合と解釈、プログラム立案と実践について指導した。
2	IPW実習		2022.4-2023.3	全学の運営実施部員、学生担当、実習配置、最終報告会の企画と運営
3	臨地総合実習 (身体機能)		2022.4-7	7週間の学外実習を実施している学生の施設中間訪問を実施した。課題進捗状況とレジュメの評価を実施した。
4	臨地総合実習 (精神機能)		2022.4-7	7週間の学外実習を実施している学生の施設中間訪問を実施した。課題進捗状況とレジュメの評価を実施した。
5	臨床作業療法技能実習		2023.2	2年次生を対象に科目担当者として実技指導、評価を実施した。
6	臨地体験実習 (身体機能)		2023.3	3週間の学外実習を実施している学生の施設中間訪問を実施した。課題進捗状況とレジュメの評価を実施した。
7	臨地体験実習 (精神機能)		2022.8	学外実習を実施している学生の施設中間訪問を実施した。課題進捗状況とレジュメの評価を実施した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4-2023.3	主指導 3名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	作業療学科3学年 学年担当	2022.4-2023.3	学生の指導、面談等を実施。	
2	埼玉医科大学国際医療センター (非常勤講師)	2022.4-2023.3	臨床支援相談、研究活動支援を実施。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会	埼玉県作業療法士会	臨床実習指導方法論講師、グループ演習、ファシリテータ	2022.8
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	Occupational Therapy in Oncology-Researchers Network	副会長		2021.2-2023.3
2	日本作業療法士協会	日本作業療法学会演題査読者		2023.3
3	埼玉県がんリハビリテーション研修会	運営スタッフ		2023.3
4	埼玉医科大学国際医療センター	非常勤講師		2023.3
5	埼玉県作業療法士会	東部ブロック 代議員		2023.3
6	埼玉県作業療法士会	編集委員		2023.3
7	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	編集委員		2023.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員	2022.4-2023.3
2	学科等における委員会等	学年担当（3年次）	2022.4-2023.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		